

令和7年度 岡山県自立支援協議会 人材育成部会

次第

日 時：令和8年1月16日(金)

9：00～11：00

会 場：岡山県庁西庁舎2階203会議室

岡山市北区内山下2-4-6

- 1 開会

- 2 各種人材育成に係る研修の実績報告及び課題検討
 - (1) 県からの報告
 - (2) 委員からの報告

- 3 個別議題
 - (1) 相談支援専門員の量・質の向上
 - (2) サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者研修に係る現状と所感

- 4 その他

- 5 閉会

令和7年度岡山県自立支援協議会 人材育成部会 出席者名簿

日時：令和8年1月16日（金）9：00～11：00

会場：岡山県庁西庁舎2階203会議室

	氏名	所属	職名	WT	出欠
1	永田 拓	岡山県相談支援専門員協会 (倉敷地域基幹相談支援センター)	会長 (施設長)	相談支援	
2	村上 眞	岡山県相談支援専門員協会 (岡山市障害者基幹相談支援センター)	副会長 (センター長)		
3	杉安 真矢	社会福祉法人旭川荘 みどり学園	園長	サビ管 児発管	
4	寺町 清二	社会福祉法人旭川荘 旭川学園	園長		
5	池田 直正	岡山県知的障害者福祉協会 (障害者支援施設コスモスの園)	理事 (管理者)	強度行動 障害	
6	須田 篤人	岡山県知的障害者福祉協会 (いづみ寮)	理事 (寮長)		
7	宗宮 昌子	公益社団法人岡山県看護協会	常務理事	医療的 ケア	
8	村下 志保子	岡山県医療的ケア児支援センター	所長		
9	池内 豊	おかやま発達障害者支援センター	所長	(発達)	
10	重松 幸子	岡山県 精神保健福祉センター	主幹	(精神)	
11	香山 瑞穂	岡山県 保健医療部 健康推進課 精神保健福祉班	総括参事		
12	赤木 哲郎	岡山県 子ども・福祉部 障害福祉課 福祉推進班	総括副参事	(発達)	欠席
13	横田 輝彦	岡山県 子ども・福祉部 障害福祉課 障害福祉サービス班	総括参事	相談支援 サビ管児発管 強度行動障害 医療的ケア	

令和7年度岡山県自立支援協議会 人材育成部会
配席図

日時：令和8年1月16日（金）9：00～11：00
会場：岡山県庁西庁舎2階203会議室

寺町委員	杉安委員	永田委員	村上委員
宗宮委員			池田委員
村下委員			須田委員
池内委員			
	横田委員	香山委員	重松委員

事務局

傍聴席

令和7年度の岡山県主催各種人材育成に係る研修 【障害福祉課分一部抜粋】

令和8年1月9日現在

研修内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談支援従事者研修				初任者研修 【旭川荘委託】 ※サビ管向け 定員：300人 修了：324人 日程：講義配信 7月 ※相談支援向け 定員：120人 修了：126人 日程：講義配信 7月 演習 7月～10月（5日間）			現任研修 【旭川荘委託】 定員：80人 修了：76人（予定） 日程：講義配信 10月 演習 11月14日、12月11日、1月20日				主任研修（中止） 【相談協会委託】 定員：18人 日程：2月3日～7日	主任フォローアップ研修 日程：未定
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者養成研修				更新研修 【旭川荘委託】 定員：400人 修了：194人 日程：講義配信 8月 演習 8月～10月（2日間）			基礎研修 【旭川荘委託】 定員：200人 修了：152人 日程：講義配信 10月 演習 10月～11月（2日間） 【三穂の園委託】 定員：200人 日程：11月、1月（3日間）			実践研修 【旭川荘委託】 定員：250人 日程：講義配信 1月～2月 演習 1月～2月（2日間）		
専門コース別研修							スーパービジョン研修 【相談協会委託】 定員：30人 修了：18人 日程：10月6日	障害児相談支援に関する研修会 【相談協会委託】 定員：100人 修了：56人 日程：講義配信 11月～12月 演習 12月2日				介護支援専門員と相談支援専門員との合同研修 【相談協会委託】 定員：未定 日程：未定
医療的ケア児等コーディネーター・支援者養成研修								【旭川荘委託】 ※コーディネーター向け 定員：60人 修了：40人 日程：講義 11月6日、7日 演習 11月27日、28日 ※支援者向け 定員：40人 修了：16人 日程：講義 11月6日、7日				
強度行動障害支援者養成研修						基礎研修・実践研修 【岡山県知的障害者福祉協会委託】 定員：500人・500人 修了：428人・345人 日程：講義配信 8月～12月 演習 8月～12月						
障害者ピアサポート研修					基礎研修・専門研修 【相談協会委託】 定員：54人 修了：29人 日程：8月21日、22日、9月24日、25日				フォローアップ研修 【相談協会委託】 定員：40人 修了：13人 日程：12月1日、2日			
障害支援区分認定調査員研修・市町村審査会委員研修		調査員研修 定員：120人 修了：76人 日程：5月22日	審査会委員研修 定員：50人 修了：22人 日程：5月30日									

令和7年度 岡山県における精神保健福祉関係者のための研修会及び連絡会 一覧
(健康推進課・精神保健福祉センター)

名称	開催地	研修期間	日程	研修目的	対象
精神障害にも対応した地域ケアシステムの構築ための研修会	県内	半日	1月14日	精神障害の有無にかかわらず地域で安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向け人材育成を行う。	保健所、市町村、医療機関、相談支援事業所、当事者、家族の関係者
対応力向上研修会(相談支援事業所加算研修)	県内	1日	10月22日	困難事例に対応する技術力の向上を図る	保健所、市町村、医療機関、相談支援事業所
自殺対策研修会	県内	半日	2/24予定	相談支援の対応力向上と自殺予防における地域の連携体制構築を図る。	保健所、市町村、医療機関、相談支援事業所等の関係者
ひきこもり専門研修会	県内(オンライン)	半日	8月6日 10月16日	思春期、青年期以降のひきこもりに悩む人や家族への相談技術の向上を図る。	保健所、市町村、医療機関、相談支援事業所等の関係者
依存症専門研修会	県内(オンライン)	半日	7月2日 12月17日	依存症関連問題について、適切な相談支援と啓発が行えるように、基本的な知識の習得と実践的な技術の向上を図る。	保健所、市町村、医療機関、相談支援事業所等の関係者
岡山県精神科医療センター内依存症センター専門実習等	県内	5日	8/18~22 9/9~12	アルコール専門病棟でのアルコールリハビリテーションプログラムの見学等を通して、専門知識・技術を習得する。	保健所、支所の精神保健福祉担当職員
ピアサポーター養成研修・フォローアップ交流研修会	県内	半日×2	6月26日 1月28日	当事者やその関係者に、ピア活動のための基本的な知識技術を身につけ、地域内での活動につなぐ	当事者・保健所、医療機関、相談支援事業所等の関係者
保健師等スキルアップ研修会(精神保健福祉相談員の取得講習会)	県内	2日	7月16日、23日	保健師及び行政職員の精神保健における対応スキルの向上	保健所、市町村の関係者
高次脳機能障害支援養成研修(加算対象)	県内・オンライン	オンライン約2日 対面2日	9/10~30 (期間限定配信) 10/7、27(対)	高次脳機能障害についての知識を得ることや、その障害特性を理解することで、特性に応じた支援を実施できる支援者を養成する。	障害福祉サービス事業所、相談支援事業所等の関係者
高次脳機能障害支援養成研修(加算対象外)	県内(オンライン)	約2日(9時間40分)	9/10~10/27 (期間限定配信)	高次脳機能障害についての知識を得ることや、その障害特性を理解することで、特性に応じた支援を実施できる支援者を養成する。	保健所、市町村、医療機関、福祉等関係者、当事者、家族

◎上記以外の各種業務に係る地域支援関係者の連絡会等(精神保健福祉センター実施分)

名称	開催地	研修期間	日程	内容	参加機関
精神障害者地域移行推進検討会	県内(オンライン)	半日	2/4予定	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにむけて、安心して生活するための地域づくり推進に向けた協議の場	医療関係者、福祉関係者、当事者、家族、行政関係者
自殺対策保健所・支所連絡会	県内(オンライン)	半日	7月31日	県自殺対策推進センターによる、県内保健所・支所との自殺対策に関する連絡会	保健所
ひきこもり保健所・市町村担当者連絡会	県内(オンライン)	半日	6月23日	県ひきこもり地域支援センターによる、保健所・支所及び市町村との連絡会	保健所、市町村
アウトリーチ事業における事例検討会	県内	半日	随時	県アウトリーチチーム及び地域支援者による、未治療・治療中断等の当事者支援に関し支援ニーズ及び支援方針について共有・検討	保健所、市町村、医療機関、相談支援事業所等の関係者
各市町村主催事例検討へのスーパーバイズ	県内	半日	随時	地域で抱えている困難事例について、対応の仕方や医療的見立てを含め検討・助言	保健所、市町村、相談支援事業所等の関係者
保健所主催の事業への講師派遣	県内	半日	随時	保健所管内の警察との連絡会や、地域移行推進会議、保健師研修会等の会議での講師	保健所、市町村、医療機関、相談支援事業所等の関係者
市町村主催の会議への講師派遣	県内	半日	随時	市町村主催の会議(生活困窮者自立支援会議・自殺未遂者支援会議・重層的支援体制整備等)への支援・助言	市町村会議構成メンバー
自立支援協議会への講師派遣	県内	半日	随時	保健所と地域の自立支援協議会からの要請により、会議での助言や講師	保健所・自立支援協議会メンバー
支援者団体の研修会への講師派遣	県内	半日	随時	支援者団体主催の研修会への助言・講師	支援者団体メンバー

岡山県相談支援専門員協会での研修について

岡山県相談支援専門員協会

永田・村上

岡山県相談支援専門員協会では令和7年度以下の研修を受託及び企画の上、
実施済み及び実施予定です。

(1) 会員向け研修事業

事業名	「総会・記念講演会」
開催日	令和7年7月12日(土) 13:30~16:30
実施場所	きらめきプラザ(オンライン併用)
参加人数	83名(うち会場43名(役員含む))
担当役員	伊藤・(松倉事務局次長・大西推進担当)
重点目標	相談支援専門員が対象とするのは当事者がよりよく社会で生きていくことのできる生活である。 その点に留意し、ご本人に必要な相談支援体制を実施していくための基本的な視点について再確認をする機会とする。

(2) 岡山県委託研修事業

事業名	「令和7年度岡山県障害児相談支援に関する研修会」
開催日	令和7年12月2日(火) 9:30~16:30
実施場所	岡山県庁分庁舎
参加人数	57名
担当役員	後藤・川上
重点目標	・障がい児支援の理解促進と地域における相談支援体制の充実
備考	・専門コース別研修

事業名	「令和7年度岡山県スーパービジョン研修会」
開催予定日	令和7年10月6日(月) 9:45~17:30
実施場所	水島あいあいサロン
参加人数	18名
担当役員	間野・大橋
重点目標	・障害のある方の意思決定(支援)を「岡山県」として大切にし、日常の業務・支援やサポートに適切におこなえるよう法定研修、また専門分野での学びの場を提供し質の向上を図る。

	<ul style="list-style-type: none"> ・当協会などが主催する研修会などを通じて、社会福祉士会などの他の職能団体の連携・研修や活動の協力を共同して行えるようにする。 ・他の担当理事や協会HPから情報発信し、次世代を担う相談員や福祉で働く仲間たちを増やしていきたい。
備考	・専門コース別研修

事業名	「令和6年度岡山県相談支援従事者主任研修」
開催予定日	令和8年2月2日（月）～6日（金）
実施予定場所	おかやまきらめきプラザ
参加予定人数	約10名
担当役員	村上・平松
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県主任研修については、今年度も岡山県より受託し実施する予定だが、規模や対象を県と協議しながら方向性を定めていくこととする。 ・また、これまで養成した主任相談支援専門員のフォローアップを目的とした研修も視野に入れていくこととする。 ・人材育成や地域づくりの中核的人材と位置付けて、横のつながりやフォローアップを意識。
備考	主任相談支援専門員養成研修～チーム編成について～（研修の特性上、理事・監事で編成） 主査：村上眞、副主査：平松啓生、永田拓、大倉教正、大橋靖司、春名江梨子、後藤崇（計：7名体制予定）

事業名	「令和7年度岡山県障害者ピアサポート研修」
開催日	基礎研修：令和7年8月21日（木）～8月22日（金） 専門研修：令和7年9月24日（水）～9月25日（木） フォローアップ研修：令和7年12月1日（月）～2日（火）
実施場所	きらめきプラザ
担当役員	春名
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修スケジュールや実施体制を見直し、内容のブラッシュアップだけでなく、つながりづくりにも重点を置き、質の高いピアサポート活動とその継続を支援する。 ・研修を受講した障害者ピアサポーターや協働支援者が、実行委員や講師を担ってもらえる仕組みを整えて、障害者ピアサポート活動の底上げと啓発を図る。

	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性などに配慮し、受講生が学びやすい事前準備と環境を整える。 ・県内のピアサポート事業の状況も鑑みながら、ピアサポーターの雇用促進やともに働きやすい体制整備について探っていく。
備考	

事業名	(新)「介護支援専門員と相談支援専門員の合同研修会」
開催予定日	1日目：令和8年3月11日(水) 2日目：令和8年3月17日(火)
実施場所	おかやま西川原プラザ
参加人数	介護支援専門員 50名・相談支援専門員 30名 計 80名(予定)
担当役員	大倉・有瀬
重点目標	介護支援専門員と相談支援専門員の合同研修では、相互の業務について理解や交流を深める取り組みを通じ、日常的に連携・協力できる仕組みを自身の活動地域で構築していくことを目指し、相互の資質向上および複雑多様化する地域課題に対応できる体制づくりを目指す。
備考	

事業名	(新)強度行動障害支援に対応した相談支援専門研修
開催日	1日目：令和7年11月10日(月) 13:00~16:45 2日目：令和8年1月26日(月) 13:00~16:45
実施場所	きらめきプラザ
参加予定人数	20名
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度、令和6年度にひきつづき令和7年度も継続して開催する。 ・強度行動障害の支援に関する基礎的な知識および事例を通じた学びを深めるとともに相談支援専門員の専門性の向上をはかる。 ・開催にあたり、おかやま発達障害者支援センター、岡山市、倉敷市、津山市の基幹相談支援センターの協力を得る。
担当役員	村上・平松

(3) 中国ブロック連携事業

事業名	「中国ブロック研修・中国ブロック会議・中国ブロック研修委員」
開催日	令和7年12月13日(土) 10:30~16:00
実施場所	米子コンベンションセンター(鳥取県)
担当役員	笹井
重点目標	<ul style="list-style-type: none">・中国ブロック研修検討委員会や代表者会議を通じて、他県の相談支援専門員と情報交換や研修企画等を通じて中国地方の相談支援専門員同士のつながりを強化する。・中国ブロック研修らしい企画を他県の検討委員と協議をおこない、岡山県の会員が、「聞いてみたい、参加したい、今後の業務のヒントになった」と思うような研修会を企画していく。・相談支援専門員は、ソーシャルワークの担い手であるということを大切に研修企画していく。
備考	※中国地方の相談支援専門員協会等と合同実施。

(4) 運営委員会事業

事業名	「令和7年度 運営委員会」
担当役員	種村
重点目標	<ul style="list-style-type: none">・SNSを活用して相談支援の情報発信等をする。・各地域の情報交換や座談会等を通じて、個々の相談支援専門員のネットワーク強化を目指す。
スローガン	「相談支援のイイトコ広げて、みんなでつなごう支援の輪」
備考	

(5) 広報活動事業

事業名	「岡山県相談支援専門員協会広報活動」
担当役員	(大西運営推進担当)
重点目標	<ul style="list-style-type: none">・岡山県内全体で相談支援のスキルアップと人材育成を行うために、県内全域に会員がいる状況を作り、協会としてもネットワークを構築できる体制を作っていく。・広報誌を作成し、関係機関の周知や会員勧誘の際の媒体として活用する。・チラシを作成し、研修会等で配布し、会員勧誘に活用する。
スローガン	「初任者研修終了時にPR強化！」
備考	

岡山県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修 実施状況及び今後の課題について

令和元年度よりサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者（サビ児童管と略）の研修制度の改定がなされ、基礎研修（相談支援従事者初任者研修講義部分 11h）・基礎研修（講義・演習 15h）、実践研修（講義・演習 14.5h）、更新研修（講義・演習 13h）を国告示に沿って実施している。適時、実施内容を振り返り、研修内容の焦点・留意事項を見直し、研修の質向上に努めている。

1. 今年度の受講募集及び内容

【基礎研修】（15h）

内 容：○サービス管理責任者の基本姿勢とサービス提供のプロセスに関する講義
○サービス提供プロセスの管理に関する演習

受講者数：募集定員 400人
受講申込者数 326人
受講決定者数 326人

【実践研修】（14.5h）※令和3年度より実施 ※基礎研修終了の2年後実践受講可（実務要件有）

内 容：○サービス提供に関する講義及び演習
○人材育成の手法に関する講義及び演習
○他職種及び地域連携に関する講義及び演習

受講者数：募集定員 200人
受講申込者数 247人
受講決定者数 247人

※事前視聴学習と対面研修の併用

【更新研修】（13h）

内 容：○障害福祉の動向に関する講義
○サービス提供の自己検証に関する演習
○スーパービジョンに関する講義及び演習

受講者数：募集定員 300人
受講申込者数 198人
受講決定者数 198人

（昨年度：受講決定者数 137人／修了者 135人（サビ管 91名、児発管 44名））

※基礎・実践・更新研修において、意思決定支援に関する視聴講座を追加（R7年度より）

（スキルアップ）1）講師・ファシリテーターへのスキルアップ研修（外部講師による研修実施）

○令和7年10月22日（水）13：30～15：00 ZOOM ライブ配信

演題：スーパービジョンについて

講師：岡山県立大学 保健福祉学部現代福祉学科教授 竹本与志人 氏

2）各研修間における視察・配置異動

○基礎研修から実践研修へ異動（ファシリ）

○各研修主務者による視察（基礎⇄実践への視察）

○基礎研修事前視聴の他委託事業者へ貸出

2. サビ児管における今日的課題

（課題1）更新研修の実施について

各単年の修了者300人想定のところ、令和6年度/135人、令和7年度193人の状況

昨年度の状況を踏まえ、県にて本年度、広報に力を注いでくださるが低調な応募状況

（課題2）県内事業所の安定的運営のための適正募集定員の検討（含スタッフ確保）

（課題3）事業所増加と当該研修の連動性の在り方（アタリ/質の担保・事業所数/廃業⇒利用者）

令和7年度 岡山県知的障害者福祉協会 人材育成に関する取り組み報告

【岡山県知的障害者福祉協会】

6 部会 児童発達支援部会／障害者支援部会／日中活動支援部会／生産活動・就労支援部会／地域支援部会／相談支援部会

10 委員会 政策委員会／研修委員会／広報委員会／調査・研究委員会／リスクマネジメント委員会／スポーツ・文化推進委員会／権利擁護委員会／親睦交流委員会／発達障害対応委員会／支援スタッフ委員会

◎人材育成につながる研修・交流

部 会

<児童発達支援部会>

- 福祉型障害児通所施設
 - ・児童発達支援管理責任者・主任研修会（R7.9月／R8.1月）
- 福祉型障害児入所施設
 - ・職員研修会・交流会（R7.12月）
 - ・事例検討会「愛着障害の児童について」（R8.2月予定）

<相談支援部会>

- 相談支援部会主催研修会〔岡山市障害者基幹相談支援センター共催〕（R8.3月予定）
「意思決定支援について」

委員会

<研修委員会>

- 人権侵害・虐待防止研修会（R7.9月）
 - ・「津山ひかり学園ひかりの風 ～その後の取り組みと現状について～」
 - ・「倫理綱領と行動規範は人権の砦 ～NO！が言える施設づくり～」
- オータムセミナー（R7.11月）
 - 〔テーマ〕 福祉サービスを提供する私たちが大切にしていきたいもの
～ 法人・職種・サービスの種別を超えて、今の思いを語り合いましょう ～
 - ・「我が子と歩む福祉施設との関わり ～家族の思い～」（GH利用者家族）
 - ・「福祉で働く皆さんへ ～発想の転換の秘訣～」（社会福祉士会）

○岡山県障害福祉施設・事業所研究交流セミナー（R8.2月予定）

[3 障害合同 *精神障害分野が主担当]

〔テーマ〕「意思決定支援と共生社会の実現 ～私の人生の主人公は、私～」

・人権が尊重される社会のために ～ハンセン病問題から学ぶ～

・エピソードトーク *3 障害分野の当事者・支援者 3 組の登壇、トークセッション

<調査・研究委員会>

○障害福祉サービス事業所の高齢化に関する調査

<権利擁護委員会>

○「施設・事業所の支援者のための人権ハンドブック ～よりよき支援のために～
2024 年度版」をもとに Q & A を題材とした動画の作成

<職員交流委員会>

○ゆうあいの翼 [2泊3日] <北海道> (R7.9月) *利用者・家族・職員参加

○職員親睦会 [施設見学・食事会等] <蒜山慶光園> (R7.11月)

<発達障害対応委員会>

○県より受託して強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）[各5回実施] を実施
<岡山会場3回、総社会場1回、津山会場1回>

・第1回（基礎79・実践66）、第2回（基礎51・実践44）、

第3回（基礎119・実践93）、第4回（基礎55・実践49）

第5回（基礎126・実践98）

<支援スタッフ委員会>

○法人間人事交流研修 *受け入れ可能施設18施設 ⇒ 実施件数3件

○支援スタッフフォローアップ研修 (R8.1月)

・「意思決定支援について学ぼう ～エンパワメント支援～」

・「人が育ち、現場が変わるリーダーシップ

～“仕組み”より“人”が動くチームづくり～」

◇作成者：岡山県知的障害者福祉協会 須田 篤人

自立支援の人材育成に係る研修報告

	研修名	月日	期間	講師	内容	参加数 (人)
★ 40	※岡山県委託 ナースキャリアアップ推 進事業 小児看護の現状と 家族への支援 (県)	10/24 (金)	1日	森貞 敦子 (倉敷中央病院)	小児看護の現状と課題を知り、多様な状況下の子どもと家族に対する効果的なケアの実際を学ぶ。 1. 小児医療の現状と課題を知り、家族支援や地域連携のあり方について理解できる 2. 成長発達をふまえた看護の特徴を知る 3. 虐待などの社会的問題と小児看護を結びつけて理解できる	14
★ 50	発達障害を理解しよう	7/22 (火)	1日	杉本 明生 (社会福祉法人旭川荘 児童発達支援センター わかさ学園いちご) 藤本 りつ子 (おかやま発達障害者支援センター)	ライフステージを通じた発達障害の特性、現状を理解し適切な支援について学ぶ。 1. 発達障害の基礎が理解できる 2. ライフステージを通じた発達障害の特性、現状を理解し、事例を通して支援の方法が理解できる 3. 各病棟における発達障害者への対応方法を、グループワークを通して考えることができる	27
★ 51	家族看護 ～援助の対象である家 族の理解を深めよう～	6/24 (火)	1日	渡辺 裕子 (「渡辺式」家族看護研 究会)	多様化する現代の患者・家族の背景から家族のケアの必要性を理解し、家族看護に必要な知識とその実際を学ぶ。 1. 現代の多様化する患者・家族の背景を知り、家族理論・家族看護の目的が理解できる 2. 「渡辺式家族アセスメント/支援モデル」を用いたグループワークを通して、援助に困難を感じた事例のアセスメントの方法を学ぶ 3. 家族看護における看護者の役割と援助姿勢および家族コミュニケーションを深める方法が理解できる	36
★ 59	医療介護推進の 最新動向 ～岡山県の地域医療 構想をふまえて～	6/30 (月)	1日 9:30 ～ 15:15	岩本 昌子 (岡山県保健医療部医療推進課) 宗好 祐子 (岡山赤十字病院) 松本 友子 (社会福祉法人敬友会)	岡山県の地域医療構想を理解し、在宅医療・介護の連携の推進を図るために必要な考え方を習得する。 1. 最新の在宅医療・介護の動向を学ぶ 2. 最新の在宅医療・介護連携のための必要な知識や制度が理解できる 3. 病院と地域の連携において何が大切かわかる	24
★ 88	※岡山県委託 看護師等確保・定 着事業 家族に介護が 必要になった時 ～仕事と介護の両立の ために～ (県)	10/21 (火)	1日	佐田 俊彦 (労務サポート SADA) 丸田 康代 (こうなんクリニック 在宅介護支援センター)	自分の家族に介護が必要となった時に役立つ知識を学び、自分の生活に合わせた介護スタイルについて考えることができる。 1. 仕事と介護を両立するための働き方が理解できる 2. 介護する自分自身のストレスを緩和するサポートシステムが理解できる 3. 家族に介護が必要になった時の介護保険制度等の手続きの方法が理解できる 4. 地域包括ケアシステム等の活用方法が理解できる	40

令和7年度岡山県医療的ケア児等コーディネーター・支援者養成研修 日程表

【区分Ⅰ コーディネーター向け】

日数	時間 (分)		項目	内容	獲得目標	講師
1日目 (11/6)	9:00～ 9:15	15	概要説明	研修の概要（目的、期待する成果等）を説明	研修のイメージをつかむ	
	9:15～ 10:15	60	総論	医療的ケア児とは 地域における子どもの発達と支援 医ケア児支援法 医ケア児コーディネーターに求められるもの等	医療的ケア児、医療的ケア児支援法を理解する。医療的ケア児等コーディネーターとして、求められる視点を、理解する。	社会福祉法人 旭川荘 理事長 神崎 晋氏 OK
	10:25～ 11:55	90	重症心身障害医学総論、地域の医療連携など	重症心身障害医療の特徴、代表的な疾患の経過・特性、地域の医療資源、医療連携の概略等、日常生活における支援（感染対策）母子保健	重症心身障害の特徴、各疾患によるライフステージやそこに必要な医療的な支援をイメージする、地域の医療的な現状を把握する。	学校法人 旭川荘 理事長 片山 雅博氏 OK
	12:40～ 13:40	60	医療的ケアの実際	医療的ケア児等に必要具体的な医療的ケア	医療的ケアの具体的なイメージを持つ。それが当事者や家族にどのようなメリット・デメリットがあるか知る。	学校法人 旭川荘 理事長 片山 雅博氏 OK
	13:40～ 14:10	30	医療的ケア児の口腔衛生について	重症心身障害児者・医療的ケア児の口腔衛生、訪問歯科診療について	重症心身障害児(者)、医療的ケア児の口腔衛生の重要性について、在宅支援に関わっている支援者が理解する。	一般社団法人 岡山県歯科医師会 理事 土肥 範勝氏
	14:15～ 15:15	60	福祉・福祉資源	重症心身障害児(者)の計画相談に必要な福祉制度・福祉資源、特にその地域特有の制度など。地域資源開拓・創出の方法（資源把握、市町村・都道府県との連携）	計画相談に必要な福祉制度・資源（地域特有の制度、資源の状況）を把握し、活用ができる。	旭川児童院 地域療育センター 所長 村下 志保子氏 OK
	15:15～ 16:15	60	教育・就労	学校教育、特別支援教育とは（個々の子どもに対してどれだけ自立を支えるものであるか）という点を理解したうえで、医療・福祉・教育の三方から子ども（家庭）を支えるような体制を学ぶ。また、高等部卒業後の就労支援体制について学ぶ。	計画相談に必要な教育・就労支援を把握し、活用ができる。	旭川児童院 顧問 中村 誉氏 OK
	16:15～ 17:15	60	医療・福祉・教育の連携（チーム作り）	地域の中で、どのような医療・福祉・教育の資源が存在し、連携をどう構築していくか。医療、保健、福祉、教育労働の連携。支援体制整備事例	地域の中で、どのような医療・福祉・教育の資源が存在し、連携はどのようなものか、また今後どのように連携を構築（チーム作り）をしていくかを知る。	旭川児童院 地域療育センター 副所長 本田 順子氏 OK
2日目 (11/7)	9:00～ 10:00	60	ライフステージにおける支援の要点	NICUからの移行や、学童期、成人期それぞれの支援の要点 移行期における支援 医ケアの必要性が高い子どもへの支援	NICUからの移行や、学童期、成人期それぞれの支援の要点を理解し、適切な計画作成ができる。	旭川荘 顧問 義村 禮子氏 OK
	10:15～ 12:15	120	在宅支援関連施設の理解 地域支援体制	多機能型児童発達支援 生活介護 児童発達支援・居宅訪問型児童発達支援	重症心身障害児(者)、医ケア児の在宅支援に関わっている事業所や施設の実態を把握し、連携できる。	すくすくyell 管理者 土山 久美香氏 OK デイセンターなすな 赤磐 管理者 小林 三重子氏 OK みどり学園 副園長 福田 玲子氏 OK
	13:00～ 14:00	60	在宅支援関連施設の理解 地域支援体制	在宅支援診療所等 医療機関 訪問看護の仕組みと実際の活動	重症心身障害児(者)、医ケア児の在宅支援に関わっている事業所や施設の実態を把握し、連携できる。	つばきクリニック 医師 中川 ふみ氏 OK 岡山訪問看護ステーション看護協会 所長 佐山 純子氏 OK
	14:00～ 15:00	60	本人・家族の思い、ニーズ、QOL	当事者の思い、ニーズ、また本人・家族のQOLをどのようにとらえるか。	当事者の思い、ニーズを知り、理解を深め、より当事者の意向に沿った計画作成ができる。	岡山県医療的ケア児家族会 守谷 雅美氏 OK
	15:00～ 16:00	60	家族支援・兄弟児支援 虐待防止	家族支援、兄弟児支援と虐待防止対策について学ぶ。	家族・兄弟の思い、ニーズを知り、理解を深める。虐待防止について学ぶ。	旭川児童院 支援部 部長 小豆 忠博氏 OK
	16:00～ 17:00	60	重症心身障害児(者)の意思決定支援	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴、意思伝達装置について どのように意思決定支援を行うか。	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴を知り、意思決定支援をどのように行うかを学ぶことにより、当事者の意思にできるだけ沿った計画相談ができる。	旭川児童院 支援部 支援顧問 石井 貞江氏 OK
3日目 (11/27)	9:00～ 17:00	420	演習 計画作成	演習に向けての作成ポイント、事例をもとにした計画作成の演習。実際自分たちで計画を作成。また模擬担当者会議により、当事者の意向を反映し、また支援者間の調整を行う。	総論やこれまでの講義を元に、特に重症心身障害児(者)の計画作成に重要なポイントを意識し、事例に基づいて計画作成ができる。	旭川児童院 他 ファシリテーター 7名
4日目 (11/28)	9:00～ 17:00	420	演習 事例検討	事例をもとに、意見交換・スーパーバイザーによる計画作成の指導を行う。	事例をもとに、ニーズの把握、当事者の意向に沿った計画作成、関係機関との調整などができる。	旭川児童院 他 ファシリテーター 7名
合計		【講義】 840 【演習】 840				

※ 講師の都合等で日程が変更になる場合があります。

令和5年度岡山県医療的ケア児等コーディネーター・支援者養成研修 日程表

【区分Ⅱ 支援者向け】

日数	時間(分)	項目	内容	獲得目標	講師	
1日目 (11/6)	9:00～ 9:15	15	概要説明	研修の概要(目的、期待する成果等)を説明	研修のイメージをつかむ	
	9:15～ 10:15	60	総論	コーディネーターのあり方、役割等 アドボカシー、エンパワメントの視点 多職種との連携、ネットワーク作り、資源の開発等 地域における子どもの発達と支援 医ケア児支援法 医ケア児コーディネーターに求められるもの等	医療的ケア児等コーディネーターとして、どうあるべきか、視点、地域連携、資源の開発の方法などを理解する。	社会福祉法人 旭川荘 前理事長 末光 茂 氏
	10:25～ 11:55	90	重症心身障害医学総論、地域の医療連携など	重症心身障害医療の特徴、代表的な疾患の経過・特性、地域の医療資源、医療連携の概略等、 日常生活における支援(感染対策) 母子保健	重症心身障害の特徴、各疾患によるライフステージやそこに必要な医療的支援をイメージする、地域の医療的現状を把握する。	旭川荘療育・医療センター 顧問医師 片山 雅博 氏
	12:40～ 13:40	60	医療的ケアの実際	医療的ケア児等に必要具体的な医療的ケア	医療的ケアの具体的なイメージを持つ、それが当事者や家族にどのようなメリット・デメリットがあるか知る。	旭川荘療育・医療センター 顧問医師 片山 雅博 氏
	13:40～ 14:10	30	医療的ケア児の口腔衛生について	重症心身障害児者・医療的ケア児の口腔衛生、訪問歯科診療について	重症心身障害児(者)、医療的ケア児の口腔衛生の重要性について、在宅支援に関わっている支援者が理解する。	一般社団法人 岡山県歯科医師会 理事 土肥 範勝 氏
	14:15～ 15:15	60	福祉制度・福祉資源	重症心身障害児(者)の計画相談に必要な福祉制度・福祉資源、特にその地域特有の制度など。	計画相談に必要な福祉制度・資源(地域特有の制度、資源の状況)を把握し、活用ができる。	旭川児童院 地域療育センター 所長 村下 志保子 氏
	15:15～ 16:15	60	教育・就労	学校教育、特別支援教育とは(個々の子どもに対してどれだけ自立を支えるものであるか)と言う点を理解したうえで、医療・福祉・教育の三方から子ども(家庭)を支えるような体制を学ぶ。また、高等部卒業後の就労支援体制について学ぶ。	計画相談に必要な教育・就労支援を把握し、活用ができる。	旭川児童院 顧問 小延 祥夫 氏
	16:15～ 17:15	60	医療・福祉・教育の連携(チーム作り)	地域の中で、どのような医療・福祉・教育の資源が存在し、連携をどう構築していくか。	地域の中で、どのような医療・福祉・教育の資源が存在し、連携はどうなっているのか、また今後どのように連携を構築(チーム作り)をしていくかを知る。	旭川児童院 地域療育センター 副所長 本田 順子 氏
2日目 (11/7)	9:00～ 12:00	180	在宅支援関連施設の理解 訪問看護 多機能型児童発達支援 生活介護 児童発達支援・居宅訪問型児童発達支援	在宅支援診療所等 医療機関 訪問看護 多機能型児童発達支援 生活介護 児童発達支援・居宅訪問型児童発達支援	重症心身障害児(者)の在宅支援に関わっている事業所や施設の実際を把握し、連携できる。	つばきクリニック 医師 中川 ふみ 氏 岡山訪問看護メアーンズ看護協会 所長 佐山 純子 氏 すくすくyell 管理者 土山 久美香 氏 デイセンターなすな 管理者 小林 三重子 氏 旭川児童院通園センター 支援主幹 福田 玲子 氏
	13:00～ 14:00	60	本人・家族の思い、ニーズ、QOL	当事者の思い、ニーズ、また本人・家族のQOLをどのようにとらえるか。	当事者の思い、ニーズを知り、理解を深め、より当事者の意向に沿った計画作成ができる。	岡山県重症児を守る会 副会長 宮木 悦子 氏
	14:00～ 15:00	60	家族支援・兄弟児支援 虐待防止	家族支援、兄弟児支援と虐待防止対策について学ぶ。	家族・兄弟の思い、ニーズを知り、理解を深める。虐待防止について学ぶ。	旭川児童院 支援部 部長 小豆 忠博 氏
	15:00～ 16:00	60	重症心身障害児(者)の意思決定支援	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴、意思伝達装置について どのように意思決定支援を行うか。	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴を知り、意思決定支援をどのように行うかを学ぶことにより、当事者の意思にできるだけ沿った計画相談ができる。	旭川児童院 支援部 支援顧問 石井 貞江 氏
	16:00～ 17:00	【区分Ⅱ】 60	医療的ケア児等支援者養成研修	小児在宅医療における多職種連携	小児等在宅医療における連携・協働の必要性を理解できる。	訪問看護ステーション 管理者 氏
合計	【講義】 840					

※ 講師の都合等で日程が変更になる場合があります。

令和5年度岡山県医療的ケア児等コーディネーター・支援者養成研修 日程表

日数	時間 (分)	項目	内容	獲得目標	講師	
1日目 (11/7)	9:00～ 9:15	15	概要説明	研修の概要（目的、期待する成果等）を説明	研修のイメージをつかむ	
	9:15～ 10:15	60	総論	コーディネーターのあり方、役割等 アドボカシー、エンパワメントの視点 多職種との連携、ネットワーク作り、資源の開発等 ケアマネジメントの手法 子育て支援としての相談支援	医療的ケア児等コーディネーターとして、 どうあるべきか、視点、地域連携、資源 の開発の方法などを理解する。	社会福祉法人 旭川荘 前理事長 未光 茂 氏
	10:25～ 11:55	90	重症心身障害医学総論、 地域の医療連携など	重症心身障害医療の特徴、代表的な疾患の経 過・特性、地域の医療資源、医療連携の概略等	重症心身障害の特徴、各疾患によるラ イフステージやそこに必要な医療的な支 援をイメージする、地域の医療的な現状 を把握する。	旭川荘療育・医療センター 顧問医師 片山 雅博 氏
	12:40～ 14:10	90	医療的ケアの実際	医療的ケア児等に必要具体的な医療的ケア	医療的ケアの具体的なイメージを持つ。 それが当事者や家族にどのようなメリッ ト・デメリットがあるか知る。	旭川荘療育・医療センター 顧問医師 片山 雅博 氏
	14:15～ 15:15	60	ライフステージにおける 支援の要点	NICUからの移行や、学童期、成人期それ ぞれの支援の要点	NICUからの移行や、学童期、成人期そ れぞれの支援の要点を理解し、適切な 計画作成ができる。	旭川荘療育・医療センター 看護顧問 義村 禮子 氏
	15:15～ 16:15	60	福祉制度・福祉資源	重症心身障害児(者)の計画相談に必要な福祉 制度・福祉資源、特にその地域特有の制度など。	計画相談に必要な福祉制度・資源 (地域特有の制度、資源の状況)を 把握し、活用ができる。	旭川児童院 地域療育センター 所長 村下 志保子 氏
	16:15～ 17:15	60	医療・福祉・教育の連携 (チーム作り)	地域の中で、どのような医療・福祉・教育 の資源が存在し、連携をどう構築していくか。	地域の中で、どのような医療・福祉・教 育の資源が存在し、連携はどうなってい るのか、また今後どのように連携を構築 (チーム作り)をしていくかを知る。	旭川児童院 地域療育センター 副所長 本田 順子 氏
2日目 (11/8)	9:00～ 12:00	180	在宅支援関連施設の理解	在宅支援診療所等 医療機関 訪問看護 多機能型児童発達支援 生活介護 児童発達支援・居宅訪問型児童発達支援	重症心身障害児(者)の在宅支援に関 わっている事業所や施設の実態を把握 し、連携できる。	つばさクリニック 医師 中川 ふみ 氏 岡山訪問看護ステーション看護協会 所長 佐山 純子 氏 すくすくyell 管理者 土山 久美香 氏 デイセンターなすな 管理者 小林 三重子 氏 旭川児童院通園センター 支援主幹 福田 玲子 氏
	13:00～ 14:00	60	本人・家族の思い、 ニーズ、QOL	当事者の思い、ニーズ、また本人・家族のQOLを どのようにとらえるか。	当事者の思い、ニーズを知り、理解を深 め、より当事者の意向に沿った計画作成 ができる。	岡山県重症児を守る会 副会長 宮木 悦子 氏
	14:00～ 15:00	60	重症心身障害児(者)の 意思決定支援	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴、 意思伝達装置について どのように意思決定支援を行うか。	重度心身障害児(者)のコミュニケーションの 特徴を知り、意思決定支援をどのよう に行うかを学ぶことにより、当事者の意思に できるだけ沿った計画相談ができる。	旭川児童院 支援部 元支援顧問 石井 貞江 氏
	区分Ⅰの方は引き続き同じ会場で研修があります。					
	15:10～ 17:10	【区分Ⅰ】 120	重症心身障害児(者)に おける計画作成のポイント	演習に向けて、計画作成のポイントを学ぶ。	これまでの講義を元に、特に重症心身障 害児(者)の計画作成に重要な項目を 理解できる。	地域活動支援センター旭川荘 地域支援課長 矢吹 徹 氏
区分Ⅱの方は中会議室へ移動をお願いします。						
15:10～ 17:10	【区分Ⅱ】 120	医療的ケア児等支援者 養成研修	小児在宅医療における多職種連携	小児等在宅医療における連携・協働の 必要性を理解できる。	訪問看護ステーション エール 管理者 平田 晶奈 氏	

※ 講師の都合等で日程が変更になる場合があります。

【講義】

【区分Ⅰ】 受講者 37 人（アンケート回答 34 人）

職種	相談支援専門員	保健師	看護師	その他（歯科衛生士 2・相談員 2）
%	50.0	20.6	20.6	8.8
人数	17	6	7	4

評価	非常に満足	満足	やや不満	不満
理解度	53%（18人）	46%（15人）	1%（1人）	
講義内容	56%（19人）	41%（13人）	3%（2人）	
講師の話し方	60%（20人）	38%（13人）	2%（1人）	
講義資料	54%（18人）	44%（15人）	2%（1人）	
実践への有効性	53%（18人）	44%（14人）	3%（2人）	
総合的評価	57%（19人）	41%（14人）	2%（1人）	

【区分Ⅱ】 受講者 16 人（アンケート回答 16 人）

職種	相談支援専門員	看護師	その他 （保育士 2・理学療法士・管理者・指導員・准看護師）
%		62.5	37.5
人数		10	6

評価	非常に満足	満足	やや不満	不満
理解度	66%（11人）	31%（4人）	3%（1人）	
講義内容	68%（11人）	28%（4人）	4%（1人）	
講師の話し方	70%（11人）	24%（4人）	6%（1人）	
講義資料	66%（10人）	30%（5人）	4%（1人）	
実践への有効性	61%（9人）	36%（6人）	3%（1人）	
総合的評価	64%（10人）	32%（5人）	4%（1人）	

【演習】 【区分Ⅰ】 受講者 36 人（アンケート回答 33 人）

Q 1 医療的ケア児・重症心身障害児・者のサービス等利用計画作成に携わっていますか？

はい	いいえ
21.2%（7人）	78.8%（26人）

Q 2 Q 1 で「はい」と答えた方の事業所所在地と担当人数

所在地	医療的ケア児（人）	重症心身障害児（人）
岡山市	1	
倉敷市	1	3
津山市（美咲町含）	1	2
赤磐市	10	20
笠岡市		5

Q 3 今回の研修を受講したことで、今後、医療的ケア児、重症心身障害児・者のサービス等利用計画等作成する際に役立つと思いますか？

非常に役立つ	役に立つ	思わない	わからない
69.7%（23人）	30.3%（10人）		

Q 4 今後、医療的ケア児、重症心身障害児・者に特化した研修会（勉強会）が開催される場合、参加してみたいと思いますか？

ぜひ参加したい	都合がつけば	思わない
54.5%（18人）	45.5%（15人）	

Q 5 演習日程の満足度はいかがでしたか？

大変満足	満足	普通	不満
51.5%（17人）	48.5%（16人）		

<感想> 【講義】

[区分Ⅰ]

- ・医療、保健、福祉、教育は対象児・者や家族にとって、どれも欠かせないものであることが分かった。また、人生を見ずえた長期的でタイムリーな支援、家族を身体的、心理的、経済的な視点から支えることが必要であると感じました。
- ・福祉に関わりたと思ったきっかけを思い出された内容でした。
- ・医療的ケア児等を支援する上で、家族全体を見ていき、一緒に考えていくパートナーになることはもちろんのこと、支援者自身も孤立せずに、チームで動いていくことが大切と感じた。また、制度や体制の整備も求められるため、地域課題を考えていくことの必要性を感じ、一市町村としてだけでなく、圏域、県全体の課題として一緒に考えていくことが大切と感じた。
- ・専門的な知識を得る講義から、家族の話（各ライフステージにおける困り事、気持ち、周囲の関係者など事例を通して）まで医ケア児をとりかこむことを一体的に学べて良かった。
- ・基本的なことから多様化するニーズを的確に把握する力、医療・福祉・教育・就労など多職種連携の重要性と調整できるように総合的にケアマネジメントしなければならないことを学んだ。
- ・当事者、ご家族様の思いやニーズと限られた社会資源をどうマッチングしていくのかが大きな課題であると再認識することができました。

[区分Ⅱ]

- ・主たる療育者が母親であるということは十分理解した上で、この業界はこれからもずっとそうなのかなあという気持ちもあり、制度の充実や、ケアや選択肢の幅が広がるため、自分に出来ることはなんなのか考える2日間となりました。引き続き学びたいと思います。
- ・研修に参加させて頂きました。総論から学び各講義では詳細まで教えて頂きました。これからやるべき事が整理できました。ありがとうございました。
- ・当事者だけではなく家族のことなど幅広く考える事が大切だと分かりました。
- ・医療的ケア児を日々ケアしているが、医ケア児を支える色々な社会福祉や制度を知ることが出来学びが多かった。医ケア児の人生の一場面を支える立場として、色々なところにつながり、連携していく姿勢が大切であると思った。非常に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・基本を振り返りながら、新しい知識を得る事ができ、今後のケアにつなげやすいと感じました。

<感想> 【演習】 [区分Ⅰ]

- ・演習やGWを通して、具体的な支援の考え方を学びました。
- ・他市の方々とネットワーク作りができて有意義でした。ありがとうございました。
- ・医ケア児のサポート体制や計画立案の手順など、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・相談だけでなく、行政・医ケア支援に関わる事業所のメンバーでグループワークできたので、それぞれの立場からの意見がきけて良かった。1人の事例を深掘し、改めて本人主体、言葉を発することができなくても、本人の思いをくみ取ることの重要性を感じました。
- ・他職種の方と話が出来て、様々な視点の話が聞けて、とても勉強になりました。
- ・連携の大切さを再認識できました。これからの相談業務で活かしていきたいと思います。
- ・色々な職種の人と話が出来、聞いたことなかった事業も知ることができて良かったです。ありがとうございました。
- ・本人主体でニーズを考えることの難しさを感じましたが、本人の意思決定支援を支えるという意味では、ニーズをとらえることを大切にしたいと思いました。
- ・普段は事業者として、相談員・看護師・行政職員の方と接することが多く、それぞれの立場がありつつの連携が主でした。今回、研修を通じて、また医療的コーディネーターという同じ視点で、地域の課題を考えることができ、非常に有意義な時間となりました。ありがとうございました。
- ・多職種とグループワークを行い、自分の知らないことが多くあり学びとなった。とても有意義でした。
- ・他市町の情報が聞かれて、今後の制度を作っていく必要性を感じました。ありがとうございました。

【勤務先種別】

<区分Ⅰ> 37人
・相談支援事業所：17人
・訪問看護：5人 ・小規模多機能：2人
・児童発達支援等：4人
・行政：7人 ・所属なし2名

<区分Ⅱ> 16人
・保育園：3人
・医療機関：1人
・児童発達支援等：8人 ・デイサービス等：4人

令和7年度年間研修計画 岡山県子ども・福祉部障害福祉課、おかやま発達障害者支援センター

2025年 1月 7日現在

		日にち	曜日	時間	形式/会場	内容	対象
	家族支援	6月19日	木	13:00-15:00	対面 美作県民局第2庁舎	ペアレントメンター定例会	ペアレントメンター 市町村Co、県民局・市町村行政担当課
Co会議 1回目	市町村Co. 連絡会議	6月24日	火	13:30-16:00	対面 岡山県立図書館	第1回 発達障害者支援関係者連絡会議 ・県/県発達障害者支援センターの事業計画の報告 ・第2回 発達障害者支援関係者連絡会議の企画会議	市町村Co/自治体職員
Co会議 2回目	中高連携	8月7日	木	13:30-15:30	オンライン (zoom) 配信会場 ビュアリティまきび	第1回 中高合同研修会 (1) 話題提供 (60分) 発達障害のある高校生への卒業後を見据えた発達支援 ～「働くことを知る・学ぶプログラム」の開発と教育・福祉領域における 活用例の紹介～ おかやま発達障害者支援センター 所長 池内 豊 (2) 情報交換・質疑応答 (45分) プログラム活用機関からの情報提供や質疑応答	<教育> 中学校(特別支援教育Co.、通常学級担任、特別支援学級担任、 通級による指導担当者)、特別支援教育推進リーダー、高等学 校(特別支援教育Co.、通常学級担任、進路指導担当、通級によ る指導担当者)、特別支援学校(特別支援教育エキスパート) <福祉> 相談支援事業所、基幹型相談支援センター、放課後等デイサ ービス事業所 <市町村> 市町村発達障害者支援コーディネーター、市町村担当者、 市町村教育委員会
	乳幼児期	9月1日	月	10:00-12:00	オンライン (zoom) 配信会場 ビュアリティまきび	親子教室研修会 「発達か気になる子どもとの遊びを広げる ～FITプログラム(短縮版)を参考に～」 川崎医療福祉大学 諏訪 利明 氏	市町村Co 自治体の保健・子育て・教育・福祉等の関係課 幼稚園・保育園・こども園 福祉サービス事業所(児発・相談支援事業所) 県民局/県保健所
	強度行動障害	9月5日	金	13:30-16:00	対面 ビュアリティまきび	強度行動障害支援管理者向け研修 (1) 行政説明 「岡山県における強度行動障害を有する児者への集中的支援 岡山県子ども・福祉部障害福祉課 (2) 基調講演 「あらためて『強度行動障害』について考える ～『職員チーム作り』と『利用者との関係性』の方向から～ 障害者支援施設・自閉症成人施設あかりの家 施設長 坊垣 勝彦 氏 (3) 実践報告 強度行動障害支援者養成研修修了者を対象としたフォローアップ研修の実践報告	下記①～⑤の管理者の立場の方 ①障害児者入所系サービス事業所 ②障害児者通所系サービス事業所 ③相談支援事業所 ④精神科病院 ⑤特別支援学校 ※市町村発達障害者支援コーディネーター、自治体職員の参加も可能です。
	家族支援	10月9日	木	10:00-15:30	オンライン (zoom) 配信会場 ビュアリティまきび	支援者養成研修会 テーマ: 発達障害児とその家族を支える地域支援体制の促進 <午前の部> 基調講演 「地域における障害児支援体制整備に向けて ～我がまちでの取組を一步先に～」 鳥取大学大学院 教授 井上 雅彦 氏 <午後の部> 岡山県センターの取組紹介や地域での実践の共有 ・ペアレントメンター事業 ・家族支援メニュー(ペアプロ・ペアトレ)	市町村行政職員・保健師、児発センターを中心とする福祉サービス事業所職 員、 市町村Co他、教育関係者・保育士等、支援者全般
	青年期	10月23日	木	14:00-16:00	オンライン (zoom) 配信会場 ビュアリティまきび	青年期支援拠点研修会 ・実践報告 「地域活動支援センターにおける発達障害支援の実践」 ～関わりを通してとらえる特性に合わせた支援～ 札幌市地域活動支援センター annapuruna(アンナプルナ) 施設長 杉本 友里香 氏 生活支援員 岩淵 愛来 氏	市町村Co 自治体の保健・子育て・教育・福祉等の関係課 障害福祉サービス・相談支援事業所 県民局/県保健所
Co会議 3回目	家族支援	11月3日	月 (祝)	13:30-16:00	対面 ビュアリティまきび	ペアレントメンター フォローアップ研修会 「発達障害をとりまく子育て環境のうづりかわり」 鳴門教育大学大学院 教授 小倉 正義氏	ペアレントメンター 市町村Co ペアレントメンター連絡協議会委員
	中高連携	11月27日	木	13:30-16:00	オンライン (zoom) 配信会場 ビュアリティまきび	第2回 中高合同研修会 (1) 話題提供 『高等学校における合理的配慮ガイドブック』について 岡山県教育庁特別支援教育課 総括副参事 井上 寛規 氏 (2) 講演 『高等学校での卒業後を見据えた自己理解支援』 相模女子大学 人間心理学科 教授 日戸由刈 氏	<教育> 中学校(特別支援教育Co.、通常学級担任、特別支援学級担任、 通級による指導担当者)、特別支援教育推進リーダー、高等学 校(特別支援教育Co.、通常学級担任、進路指導担当、通級によ る指導担当者)、特別支援学校(特別支援教育エキスパート) <福祉> 相談支援事業所、基幹型相談支援センター、放課後等デイサ ービス事業所 <市町村> 市町村発達障害者支援コーディネーター、市町村担当者、 市町村教育委員会
Co会議 4回目	市町村Co. 連絡会議	12月2日	火	13:30-16:30	オンライン (zoom) 配信会場 ビュアリティまきび	地域支援研修会① 「ライフステージを通じた切れ目のない支援体制構築に向けて」 西尾大輔氏 厚生労働省 発達障害対策専門官 近藤修史氏 文部科学省 特別支援教育調査官 今出大輔氏 こども家庭庁 発達障害児支援専門官 自治体報告 早島町、新見市	市町村Co 自治体の保健・子育て・教育・福祉等の関係課 県民局/県保健所/その他
	就労	12月10日	水	12:45-16:00	対面 津山リージョン センター	雇用促進研修会・障害者雇用セミナー(ナカボツ合同セミナーとの共催) 「発達障害のある人と共に働くために」 ミニシンポジウム + 講話(岡山障害者職業センター 主任職業カウンセラー 植木氏	企業 公務部門
Co会議 5回目	乳幼児期	1月27日	月	13:30-16:30	オンライン (zoom) 配信会場 ビュアリティまきび	地域支援研修会② 「M-CHATを通じた発達支援が必要な子どもと家族への支援体制づくり」 原口英之氏 所沢市こども支援センター等	市町村Co 自治体の保健・子育て・教育・福祉等の関係課 県民局/県保健所 その他の健診に関わる支援者 幼稚園・保育園・こども園 福祉サービス事業所(児発・相談支援事業所)
	中高連携	12月8日	月	14:00-16:00	対面 会場未定	中・高・関係機関連携会議(備中圏域) (1) 情報提供 ①高等学校に在籍する特別な支援を必要とする生徒への進路指導 (岡山県教育庁特別支援教育課) ②就労機関から見た、在学中から大切にしたい視点や取り組み (岡山障害者職業センター) ③備中地域の成人期支援に携わる機関または発達障害者支援コーディネーターの 役割や動きの紹介(打診中) (2) 情報交換 ※顔合わせ	<教育> 中学校(特別支援教育Co.、通常学級担任、特別支援学級担任、 通級による指導担当者)、特別支援教育推進リーダー、高等学 校(特別支援教育Co.、通常学級担任、進路指導担当、通級によ る指導担当者)、特別支援学校(特別支援教育エキスパート) <福祉> 相談支援事業所、基幹型相談支援センター、放課後等デイサ ービス事業所 <市町村> 市町村発達障害者支援コーディネーター、市町村担当者、 市町村教育委員会
	就労	2月26日	木	13:30-15:30	オンライン (zoom)	発達障害者就労支援担当者連絡会(実務者向け勉強会) 「社内外のチームで支える発達障害のある人への支援・サポートについて」	雇用者(一般企業/公務部門) 特別支援学校 就業・生活支援センター 障害者職業センター 吉備高原リハビリテーションセンター 就労移行支援事業所 市町村Co/その他
	家族支援	3月10日	火	13:30-15:30	オンライン (zoom)	ペアレントメンター連絡協議会	協議会委員
	乳幼児期	備前11/14 備中1/9 美作2/2			対面 備前/備中/美作 ※圏域ごとに開催	乳幼児支援に関する情報交換会 ～乳幼児健診や親子教室での家族支援や発達支援～	自治体の乳幼児健診や親子教室に携わる支援者 市町村Co、市町村担当課 保健所・県民局の発達支援担当者

市町村発達障害者支援コーディネーターとの事例検討会 2025年7月～2026年3月の最終週金曜日 11:00-12:00 *各回1事例 当センタースタッフも共に検討させていただきます。

相談支援専門員の量・質の向上について

1 量について

(1) 相談支援従事者研修修了者数

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
初任者研修	95	115	90	126
現任研修	80	81	78	(予定) 76
主任研修	15	9	8	中止

(2) サービス等受給者、相談支援専門員数、相談支援事業所数 *1

【受給者数】

	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
障害福祉サービス	17,830	17,851	18,619	18,881	19,528
障害児通所支援	11,395	12,270	13,087	13,845	14,583
合計	29,225	30,121	31,706	32,726	34,111

【相談支援専門員数】 *2

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
者	352	349	425	374	383
児	289	285	366	312	331
合計(実数)	363	355	435	387	397

【指定特定又は障害児相談支援事業所数】

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
者	170	175	174	180	192
児	134	139	140	151	163
合計(実数)	176	179	179	191	201

(3) 相談支援専門員の更新率% *3

初任者研修を修了した者がその後の5年間に現任研修を修了した割合

初任研修了年度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計
H 29年度	2.4	1.9	1.9	4.4	11.2	21.8
H 30年度	0.0	1.5	3.4	10.3	7.9	23.2
R 元年度	0.0	1.4	3.5	8.4	11.2	24.5
R 2年度	0.0	0.0	16.9	16.9	12.3	46.2

初任研修了年度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計
R 3年度	0.0	0.0	9.8	10.9	-	20.7
R 4年度	0.0	1.1	5.3	-	-	6.3

(4) セルフプラン率% *1

【全国】

	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
者	15.5	15.6	15.6	15.8	未定
児	28.5	28.9	30.0	30.7	未定

【岡山県】(市町村別データは付録のとおり)

	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
者	25.2	21.5	21.5	20.9	18.8
児	31.5	31.4	32.0	32.2	31.8

2 質について

(1) 障害者相談支援アドバイザー事業

県では、国の地域生活支援事業を利用して、障害者相談支援アドバイザー事業を毎年実施している。この事業では、県が委嘱する相談支援アドバイザー及び圏域相談支援コーディネーターを市町村からの要請に基づき派遣し、研修講師、相談支援従事者研修インターバル実習の指導、基幹相談支援センターの新規設置に係る助言等を行ってもらっている。

令和7年度の派遣実績(令和7年12月現在)は56箇所、72人。

(2) 主任フォローアップ研修の継続

主任相談支援専門員のための更新研修は、相談支援専門員のための更新研修である現任研修と共通であり、主任相談支援専門員専用の更新研修は定められていない。

そこで、令和6年度に初めて岡山県独自の主任フォローアップ研修を開催したが、受講者から好評を博したので、引き続き令和7年度も開催を予定している。なお、岡山県内の主任相談支援専門員は60名程度。

*1 厚生労働省「障害者相談支援事業の実施状況等調査」に依る。

*2 指定特定及び指定障害児相談支援事業所に在籍する相談支援専門員に限る。
ただし、複数事業所で兼務する者は多重計上されている場合がある。

*3 岡山県が主催する現任研修を修了した者を基にして推定した。

(付録1) 令和4～6年度岡山県内の市町村別セルフプラン率%

	者			児		
	R4年度	R5年度	R6年度	R4年度	R5年度	R6年度
全国	15.6	15.8		30.0	30.7	
岡山県	21.5	20.9	18.8	32.0	32.2	31.8
岡山市	37.6	35.4	30.0	74.2	71.9	69.2
倉敷市	21.2	20.9	20.1	0.0	0.0	0.0
津山市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
玉野市	10.7	13.6	15.1	0.0	0.3	0.0
笠岡市	8.6	8.9	7.6	0.0	0.0	0.0
井原市	0.6	0.3	1.6	0.0	0.0	0.0
総社市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高梁市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新見市	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
備前市	3.0	5.1	3.3	6.9	6.5	4.1
瀬戸内市	7.6	6.0	6.8	47.0	38.2	27.6
赤磐市	29.9	27.3	26.2	43.6	53.9	52.5
真庭市	4.7	3.7	5.8	3.6	1.1	1.0
美作市	0.0	0.3	0.0	0.0	1.0	1.4
浅口市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
和気町	6.8	3.5	3.1	21.8	20.8	16.7
早島町	9.9	13.7	13.5	0.0	0.0	0.0
里庄町	14.3	17.1	7.4	1.0	0.9	1.7
矢掛町	3.3	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
新庄村	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
鏡野町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
勝央町	4.7	4.8	0.0	6.2	2.7	2.6
奈義町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
西粟倉村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
久米南町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
美咲町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
吉備中央町	0.0	0.0	0.0	1.0	0.8	0.0

(付録2) 令和5年度岡山県内の市町村別障害児通所支援の利用率%及び給付費

	19歳以下人口 (1月1日)	受給者数 (4月1日)	利用率	セルフプラン率	給付費	一人当たりの 平均給付費
全国	19,969,663	606,456	3.0	30.7		
岡山県	310,594	13,845	4.5	32.2	12,462,538,006	900,000
岡山市	121,513	5,631	4.6	71.9	5,491,020,000	975,000
倉敷市	85,184	3,009	3.5	0.0	2,533,846,000	842,000
津山市	16,407	566	3.4	0.0	586,655,000	1,036,000
玉野市	7,261	304	4.2	0.3	277,000,000	911,000
笠岡市	6,025	336	5.6	0.0	331,405,354	986,000
井原市	5,228	253	4.8	0.0	207,020,000	818,000
総社市	13,065	794	6.1	0.0	485,076,280	611,000
高梁市	3,298	328	9.9	0.0	156,451,092	477,000
新見市	3,475	182	5.2	0.0	41,344,123	227,000
備前市	3,833	170	4.4	6.5	130,000,000	765,000
瀬戸内市	5,658	338	6.0	38.2	396,378,000	1,173,000
赤磐市	7,492	445	5.9	53.9	347,637,024	781,000
真庭市	6,276	90	1.4	1.1	100,493,338	1,117,000
美作市	3,435	204	5.9	1.0	242,442,000	1,188,000
浅口市	4,934	199	4.0	0.0	205,064,026	1,030,000
和気町	1,678	77	4.6	20.8	71,600,000	930,000
早島町	2,717	244	9.0	0.0	192,456,208	789,000
里庄町	2,013	112	5.6	0.9	106,875,296	954,000
矢掛町	1,912	137	7.2	0.0	137,732,000	1,005,000
新庄村	113	1	0.9	0.0	360,000	360,000
鏡野町	2,024	59	2.9	0.0	64,038,000	1,085,000
勝央町	2,036	110	5.4	2.7	129,600,000	1,178,000
奈義町	1,018	37	3.6	0.0	38,497,242	1,040,000
西粟倉村	224	11	4.9	0.0	6,100,000	555,000
久米南町	523	9	1.7	0.0	11,900,000	1,322,000
美咲町	1,862	77	4.1	0.0	79,000,000	1,026,000
吉備中央町	1,390	122	8.8	0.8	92,547,023	759,000

サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者研修に係る現状と所感

1 サビ児管（サービス管理責任者/児童発達管理責任者）研修の意義

- ① 障害児者福祉サービスの根幹を支える最も重要な研修
- ② 地域の実践者が実践者を育成することで、地域課題を踏まえた人材育成、リーダー養成、ネットワーク形成、地域支援体制の強化につながる

2 現状と所感

(1) 適切な定員の設定と適切な受講人数の確保

<現状>

- 近年、基礎研修の応募者は増加傾向にあり、実践研修および更新研修の応募者も増加が見込まれる。（別紙参照）
- 今年度の実践研修は定員超過にはならなかったものの、定員にほぼ達した。

<所感>

- サビ児管有資格者の適正数等に基づく適切な定員の設定が必要である。
- 今後も、指定事業所の増加に伴いサビ児管の受講ニーズが高まっていることを踏まえ、定員や実施体制について、状況に応じて確認・調整をしていきたい。
- R8 年度基礎研修に関しては、修了者数によって実践研修の応募者数が決まるので、入口をコントロールする必要がある（定員は 300～350 人程度とするのが妥当）。
- R8 年度実践研修に関しては、R6 年度の基礎研修修了者の多くが受講することになる。

今年度実績では、R5 年度基礎研修修了者 293 人に対して R7 年度実践研修受講希望者が 247 人であった（約 8 割受講）。同程度の割合と考えると、R6 年度基礎研修修了者が 340 人なので 272 人程度の応募が予想される。それに加えて、更新研修未受講者の受講を含めると、現在の定員 250 人では若干不足する可能性がある。今後の事を考えると上記のとおり基礎研修の定員のコントロールが必要である。

- R8 年度更新研修に関しては、R3 年度の更新研修・実践研修修了者が更新期限となる。現時点で R3 年度受講者のうち 445 人が未更新であるため、最低限として、現在の定員 400 人を維持するのが適切であると考えられる。（過去実績では、更新期限までに更新研修を受講するのは修了者の 6 割程度）

(2) OJT（実地研修）の位置付け

<現状>

- 本来は「現場のOJTが最重要で、研修はその積み重ねを整理・確認する機会」という整理がある一方、現制度ではOJTの位置付け・内容が曖昧で、各法人・事業所の実情に応じた工夫によって支えられている。
- 国で「実地研修（OJT）指導者マニュアル」作成の研究が進み、R8年度完成予定である。

<所感>

- 国マニュアル整備が進むことは事業所がこれまで現場で積み重ねてきた育成の取組をより共有しやすい形で整備し、支援につなげていく契機になり得る。

(3) 基礎研修実施機関の連携・交流等

<現状>

- 今年度の基礎研修は、2つの機関で実施されている。
- 両実施機関の連携・交流を通じて、基礎研修全体のさらなる質の向上及び、内容の平準化・質の担保が期待されている。

<所感>

- 複数機関で実施できていることは、受講機会の確保や運営の持続可能性の面でプラスであり、ここに運営事業所同士の連携・交流が乗ることで、県全体としての研修品質を底上げできる伸びしろが大きい。
- 今年度、旭川荘から三穂の園へ講義資料の提供が行われ、教材・知見の共有が具体的に進んだことで、研修内容の平準化および質の担保に資する取組が実際に機能し始めている。

(4) ファシリテーターのスキルアップ

<現状>

- 講師・ファシリ向けに「スーパービジョンについて」の研修などスキルアップに向けて、すでに動き出している。
- ファシリテーションの向上は、研修の質向上だけでなく、地域のリーダー養成にもつながる重要テーマであると考える。

<課題>

- 質の平準化（同じ演習での学びを揃える）
ファシリ個人の技量差が成果の差になりやすいため、演習のねらいなどを共有し、最低限の共通水準を確保する必要がある。

<所感>

- 今年度は令和7年10月22日に講師・ファシリテーター向けのスーパービジョンに関する講義を実施しており、研修の質向上に向けて旭川荘においても実践を進めていただいている。

岡山県における強度行動障害支援施策（次期重点事業期間：R 8～10）の展開について



強度行動障害支援人材連携ネットワーク事業の概要

事業の必要性

- 強度行動障害支援の中心的な役割を果たす中核的人材の養成に加え、人材育成を担うコアメンバーの育成及び共通理解の形成が重要
- 令和9年度以降の県主体による中核的人材養成研修を見据えた、研修体系・実施体制・役割分担の整理が必要
 → そのため、令和8年度を準備・基盤整備期間と位置付け、人材育成体制及び支援者間のネットワーク構築を進める。

事業の3つの柱

①人材育成に関わるコアメンバー研修

- 概要**
- 県域の強度行動障害支援に関わる人材育成研修を担うコアメンバーを対象とした、標準的な支援に係る理解・認識等について共通の基盤を形成
 - R9年度以降の中核的人材養成研修における指導・運営の中核を担う人材としての役割意識を醸成

②強度行動障害支援関係研修のブラッシュアップ事業

- 概要**
- 支援者養成研修及び中核的人材養成研修について、研修内容・実施方法・運営体制等の質の向上及び体系的整理を図り、両研修が相互に連動した人材育成制度として機能するよう整備
 - R8年度は、R9年度からの中核的人材養成研修開始を見据え、実施体制、研修運営フロー及び継続実施に向けた課題整理を行う。

③強度行動障害支援に係るマネジメント研修

- 概要**
- 管理者等が、標準的な支援を組織内に定着・充実させるために必要な姿勢、視点及び具体的な取組について学ぶとともに、将来的に中核的人材が地域や事業所を支援する際の基盤となるマネジメントの考え方を共有

オール岡山県での一貫性のある人材育成

県の人材育成事業の取組

